

H25.3.27議決

平成 25 年度

事業計画書

社会福祉法人^{恩賜財団}東京都同胞援護会

社会福祉法人^{恩賜}財団^{財団}東京都同胞援護会憲章（同援憲章）

同援憲章

同胞援護会は、敗戦後まもなく戦時下の軍人援護会と戦災援護会の合併を機に全国組織として、日本の社会事業発展を目指して誕生しました。

やがて全国支部組織から独立し、東京都同胞援護会として、戦後の復興事業から新しい社会福祉を目標として生まれ変わりました。

発足において同胞援護会は、「同胞愛」、「四海皆兄弟」、「助け合い」の言葉を基本理念に掲げました。戦後の荒廃した社会にあって、何よりも国民の復興に向けた精神のよりどころを高く標榜したものでした。

同胞援護会は、戦後の混乱期から幾多の時代の変遷にあっても、変わることなく社会福祉の道を、多くの人々とともに歩んできました。

この精神は現在もなお同胞援護会の理念として、強く受け継がれているものであります。

いずれの時代にあっても福祉は、普遍的なものであり私たちは、常に地域の皆様とともに、基本的人権の思想を何よりも尊重し、真の福祉を目指して迷うことなく進んでまいります。

東京都同胞援護会は、これからもこの崇高な理念を基本にして、福祉社会の恵沢を、全ての人々とわかちあうために努めていきます。

基本理念

- 1 個人の尊厳をまもり、利用者の意向を十分に尊重いたします。
- 2 利用者の心身の健全と、一人ひとりに応じた自立を支援いたします。
- 3 地域の皆さんと一緒に福祉の街づくりに努めます。

基本方針

- 1 利用者の立場に立ってサービスを考えます。
- 2 利用者のため質の高いサービスを提供します。
- 3 笑顔と挨拶と礼儀を大切にします。
- 4 透明で開かれた施設を目指します。
- 5 健全な施設経営を目指します。

目 次

平成 25 年度事業計画	1
事業経営	7
1 保育支援系施設の経営	10
2 高齢者支援系施設の経営	19
3 障害者支援系施設の経営	40
4 児童・女性支援系施設の経営	49
5 医療事業施設の経営	57
6 収益事業の経営	59
職員福利厚生制度並びに職員研修制度	60
理事会及び評議員会	64
施設長会議及び各種委員会	65
事務局主要業務	66

平成 25 年度 事業計画

我が国の経済は、先行きに不確実性があるものの、政権交代後、景気回復への明るい兆しが見え始めています。

そうした中で、都の税収は増加の見込で、25年度の歳出予算案は1.9%のプラスとなっており、福祉・保健分野でも215億円の増加となっています。

しかし、今後、消費税率のアップ、生活保護費の切り下げが見込まれており、当法人の運営にも影響を及ぼすものと思われま

す。当法人としては今年度の事業実施にあたり、引き続き、利用者の安心・安全を確保し、利用者の立場に立った質の高いサービスを提供するとともに、安定した財政基盤の確立、サービスの担い手である人材の確保と育成、これらを重点目標にいたします。

まず、利用者の安全で快適な利用環境を維持するため、老朽化した施設・設備の改修や整備を実施し、今年度も保育園の改築に着手します。また、防災・減災に関する備えや職員教育を引き続き行います。

次に、利用者満足度の高いサービスを提供するために、専門的技術ならびに接遇マナーの向上など、職員の資質向上のため、職場内外の研修を充実してまいります。

次に、安定した財政基盤の確立を図るため、引き続き、資金管理や人員管理及び物品調達などにおいて法人として一元的な管理・運営を行いコスト削減に向けて努力いたします。

また、人材確保については、今年度も、新規学卒予定者への求人活動を積極的に展開するとともに、人材の育成に努めます。

施設の再編計画については、施設の老朽化を踏まえ、地域ニーズに対応できるよう、地元自治体、関係機関との協議を続け、実効性のある計画を検討してまいります。

最後に昭島病院の運営についてですが、今年度も安定的な財政運営に努めるとともに、引き続き医療の質の向上や、新たな医療サービスの提供に取組み、地域医療連携の拡充を図りつつ地域の中核病院として運営してまいります。

本年度も役職員一体となり利用者の皆様や地域の方々から喜ばれる法人運営に向け努力してまいります。

平成25年度運営施設(事業)一覧表

グループ名	種別	施設名	定員 (世帯)	職員数				合計	
				正規職員	非常勤職員				
					契約職員	非常勤A	非常勤B		
保育支援系施設	保育所	むさしの保育園	169	39	6	0	24	69	
		本園	140						
		方南分園	29						
		昭和郷保育園	100	22	4	3	19	48	
		大山保育園	122	25	5	0	12	42	
		昭和郷第二保育園	190	33	1	2	23	59	
		みなと保育園	70	17	1	0	9	27	
		同援みどり保育園	125	27	1	0	19	47	
		つつじが丘保育園	110	26	2	1	20	49	
		同援さくら保育園	108	24	1	0	21	46	
保育施設計			994	213	21	6	147	387	
高齢者支援系施設	養護老人ホーム	万世敬老園	200	18	6	17	9	50	
	軽費老人ホーム	サンホーム	50	8	6	1	6	21	
		ライトホーム	50	1	2	0	0	3	
	救護施設	昭島荘	100	37	4	1	7	49	
	小計			400	64	18	19	22	123
	特別養護老人ホーム	フジホーム	100	27	17	6	16	66	
		ニューフジホーム	100	41	5	2	24	72	
		原町ホーム	50	19	5	10	6	40	
		ゆたか苑	50	25	3	2	10	40	
		ひかり苑	50	22	14	0	7	43	
	小計(介護施設)			350	134	44	20	63	261
	短期入所生活介護事業 専用数(空所利用数)	フジホーム	(6)	4	-	-	-	-	-
		ニューフジホーム	(6)	4	-	-	-	-	-
		原町ホーム	(4)	2	-	-	-	-	-
		ゆたか苑	(4)	4	-	-	-	-	-
		ひかり苑	(5)	4	-	-	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	かえで		9	2	4	0	4	10
		原町グループホーム		18	4	3	8	8	23
	老人デイサービスセンター	フジ・デイサービスセンター		25	3	1	6	4	14
		フジ・デイホーム		10	1	0	6	0	7
原町高齢者在宅サービスセンター			12	1	3	4	6	14	
原町デイサービスセンター			12	2	2	5	3	12	
東大和市ふれあい デイセンターひかり苑			12	1	2	0	5	8	
地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者総合相談センター		-	9	0	0	0	9	
	昭島市中部地域包括支援センターあいぼっく		-	4	0	0	3	7	
居宅介護支援事業所	フジホーム		-	1	1	0	1	3	
	原町ホーム		-	2	0	0	0	2	
	ゆたか苑		-	2	0	0	0	2	
	ひかり苑		-	1	0	0	0	1	
小規模多機能型 居宅介護事業	原町小規模多機能居宅介護センター	25	4	2	4	0	10		
小計(介護在宅)			141	37	18	33	34	122	
公益事業	フジホーム診療所		-	0	0	0	0	0	
	訪問介護養成研修事業		-	0	0	0	0	0	
高齢者施設計			891	235	80	72	119	506	

グループ名	種別	施設名	定員 (世帯)	職員数											
				正規職員	非常勤職員			合計							
					契約職員	非常勤A	非常勤B								
障害者支援施設	障害者支援施設(入所)	さやま園(居住)	施設入所支援	96	100	53	14	0	26	93					
		さやま園	生活介護	(90)											
	就労移行支援		(6)												
	短期入所		4												
	障害福祉サービス(通所)	小茂根福祉園	生活介護	40	70	30	4	0	2	36					
			就労継続支援B	30											
		立川福祉作業所	生活介護	30	75	11	4	0	18	33					
			就労継続支援B	35											
			就労移行支援	10											
	東村山生活実習所	生活介護	30	40	12	5	0	10	27						
		就労継続支援B	10												
			短期入所	2											
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ		-	10	2	0	7	19						
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター		-	21	0	0	9	30						
	共同生活介護・共同生活援助事業(知的障害者グループホーム)	共同生活介護・共同生活援助事業(知的障害者グループホーム)	アミニティ富士見		6	-	(1)	-	-	-					
			グリーンハイツ		6	-	(1)	-	-	-					
			フレンズ・モエ		4	-	(1)	-	-	-					
			バル		6	-	(1)	-	-	-					
			それいゆ小川		6	-	(2)	-	-	-					
			ファーム竹丘1		6	-	(2)	-	-	-					
ファーム竹丘2				7	-	(1)	-	-	-						
レヂオンス巣鴨				4	-	(1)	-	-	-						
はなみずき				4	-	(1)	-	-	-						
ユーカリ				4	-	(1)	-	-	-						
夢オハナ				6	-	(1)	-	-	-						
結オハナ				6	-	(1)	-	-	-						
障害者施設計				352	137	29	0	72	238						
児童・女性支援施設	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野		20	7	3	0	3	13						
		緊急一時保護		1											
		サンライズ青山		20											
		港区緊急一時保護		1											
		サンライズ万世		20											
	緊急一時保護		2												
	児童養護施設	双葉園			38	22	5	1	7	35					
			地域小規模「高嶋の家」		6						2	2	0	0	4
			地域小規模「くすのき」		6						4	0	0	0	4
			昭島市子どもトワイライトステイ事業		2	0	0	0	0	0					
婦人保護施設	いこいの家		40	9	3	0	8	20							
昭島市児童センター	昭島市児童センターぱれっと		-	2	0	0	9	11							
	ぱれっと	つつじが丘北児童クラブ		50	0	0	5	5							
児童・女性施設計				206	60	20	1	45	126						
施設合計				2,443	645	150	79	383	1,257						
医療	病院	昭島病院		199	203	0	0	135	338						
	訪問看護	昭島病院訪問看護ステーション		-	4	0	0	3	7						
収益	印刷	事業局		-	12	2	0	0	14						
	不動産賃貸			-	-	-	-	-	-						
	駐車場	病院駐車場		-	-	-	-	-	-						
合計				2,642	864	152	79	521	1,616						

平成25年4月1日現在(見込)

備考: 1 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

2 共同生活介護・共同生活援助事業の職員数は委託事業のため職員数には含まない。()内の職員数は、委託職員数。なお、計画作成担当者はバックアップ施設の職員が兼務する。

事業経営

1 保育支援系施設の経営

日々保護者の委託を受けて、保育に欠ける乳児または幼児を保育します。

1 グループ方針

未来に安心とやすらぎのある福祉社会を、すべての人々と共につくるという課題に向き合っています。人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創りだしていきます。

2 グループ目標

- 1 子どもの人権や主体性を尊重した質の高い保育を展開し、子どもの生きる力を育てます。
- 2 地域社会の子育て支援の拠点として、さまざまな機関、組織による連携・協働に於いて保育所の役割を果たします。
- 3 積み上げた保育のノウハウを活かし、保護者の育児力向上に向けて子育てに関する情報の提供に努めるとともに、保護者の就労を積極的に支援し、多様なニーズに応える取り組みを展開します。
- 4 職員育成計画に基づき職員の質の向上、多様なサービスを提供できる人材の育成・研修の充実を図ります。人事考課制度の定着を図ります。
- 5 保育園の安全対策の徹底を図り、利用者の安心を確保します。
- 6 国が進める「子ども・子育て関連3法」の動向に目を向け、状況の変化に合わせて適切な対応ができるようにします。

平成25年度 事業計画 (保育所)

施設名 むさしの保育園

定員 169 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 待機児解消のための定員増・一時保育・子育て支援・2時間延長保育等を開始し、子育て家庭に必要な良質な保育サービスを提供します。
- 2 地域で支える子育て支援の拠点として、子育てサークル支援、地域関係機関との連携・協働を図りながら、保育園の役割を果たします。
- 3 育児困難家庭・要配慮児への対応等専門機関との連携を図りながら、保育の専門性を発揮し、保護者の育児力向上に向け支援します。
- 4 職員育成計画に基づく人材育成を通して、職員の資質・専門性を磨き向上を図ります。
- 5 「子ども・子育て関連3法」が成立し、新たな制度における社会の要請やニーズに対応するために、子育て環境の整備に努めます。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
101.2%	104.0%	107.8%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 子どもの個性や発達を大事にしながら、子どもが安心感と信頼感をもって、自発的・意欲的に活動が展開できるよう生きる力を育てる援助をします。
- 2 遊びの中での育ち合いを大切に見守りながら、子ども相互の関係づくりや社会性を育む保育に努め、豊かな心と社会性、道徳性のある子どもを育てます。
- 3 子どもの気持ちに寄り添い、子ども達が日々感動したり、驚きや発見に出会えるよう保育内容(縦割り・横割り)の充実をはかります。
- 4 「びよびよクラブ」「遊ぼう会」を通し、地域のニーズに合わせた育児支援を行うとともに、地域の子育て支援の拠点となるよう努めていきます。
- 5 安心・安全に配慮しながら、子ども達が自ら意欲的に楽しく活動できるよう、また生活体験が広がるよう工夫しながら環境を整えていきます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
はぐむ保育用PC (×10台)ほか更新	1,639	園庭遊具設置	5,000	分)テラス補修	680	コピー機購入	1,000
システムプール購入	2,250			分)フェンス補修	530		
駐輪場安全対策	700						
五月人形購入	500						
購入等合計	5,089	購入等合計	5,000	購入等合計	1,210	購入等合計	1,000

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (保育所)

施設名 **昭和郷保育園**

定員 **100**名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 **子どもの人権や主体性を尊重し、質の高い保育を展開し生きる力を育てます。**
- 2 **地域社会の子育て支援の拠点として子育ての情報を発信し多様なニーズに応じられるよう努めていきます。**
- 3 **国が進める「子ども・子育て関連3法」の動向に目を向け、状況の変化に合わせて適切な対応ができるようにします。**
- 4 **職員育成計画に基づき、多様なサービスを提供できる人材の育成・研修の充実を図ります。**
- 5 **日々安全な環境を整えるとともに、緊急時にそなえた対応が出来るよう、安全対策の徹底を図ります。**

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
115.0%	120.0%	119.0%	119.0%

【重点支援目標】

- 1 **生活や遊びの中での様々な体験を通して、豊かな感性を育み子どもの生きる力を育てます。**
- 2 **家庭的な雰囲気の中で一人ひとりの成長発達を捉えながら、安全で情緒が安定した生活ができるように援助していきます。**
- 3 **縦割り保育で個々の意思を尊重し満足出来る経験を重ね、自信を持ち他児と関わる中でやさしさや思いやりの気持ちが育つよう援助します。**
- 4 **全身を使って遊ぶことを経験し、健康な身体づくり、運動能力の向上を目指します。**
- 5 **保育者や友だちとの関わりの中で、自分の思いを言葉で伝え、やりとりができるよう支援します。**

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
保育支援システム パソコン	960	電動式テント設置	1,528	壁紙張替	800	食器洗浄機	1,309
購入等合計	960	購入等合計	1,528	購入等合計	800	購入等合計	1,309

リース等(物件・年額)	金額
観察用水槽	355
リース等合計	355

平成25年度 事業計画 (保育所)

施設名 **大山保育園**

定員 **122** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 **子ども一人ひとりの人権や主体性を大切に、様々な経験をとおして子どもの生きる力を育てます。**
- 2 **環境の変化による家庭・地域における養育力の低下に保育所を拠点として、子育て支援に努めます。**
- 3 **職員育成計画によるチューター制度の充実・研修による専門性スキルアップ等人材育に努めます。**
- 4 **園舎建て替えにともない安全対策の徹底を図り安心を確保します。**
- 5 **国が定める「子ども・子育て新システム」の制度改革に注目し変化に応じた対応ができるように情報収集し職員で共有します。**

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
101.8%	101.3%	102.2%	102.4%

【重点支援目標】

- 1 **「たくましく生きる力を育てる」を目標に子どもが安全に過ごせる保育環境を整え一人ひとりの人権に配慮し成長発達に合わせた援助をします。**
- 2 **地域社会のなかでともだちや職員・地域の人とのかかわりの中で「こころの育ち・豊かな心」が育つよう努めます。**
- 3 **子どもが自主性をもち主体的に行動できるよう保育の充実に努めまた地域における子育て拠点としての役割を果たします**
- 4 **研修計画に基づき職員の育成・質の向上を図り保護者への支援の努めます。**
- 5 **園舎建て替えが始まるため園児の安全確保につとめ安心して過ごせるようにします。**

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
ノートパソコン	800			はぐくむ設置設定 運搬料	800 800	解体工事費 本体工事費 設計監理料他	16,480 17,850 12,498
購入等合計	800	購入等合計	0	購入等合計	1,600	購入等合計	46,828

リース等(物件・年額)	金額
コピー機	156
印刷機	156
仮設費用	84,600
リース等合計	84,912

平成25年度 事業計画 (保育所)

施設名 昭和郷第二保育園

定員 190名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 利用者の権利を尊重しながら、本園に蓄積された専門的知識技能を活かし、他機関と連携して園児の保育と保護者、地域の育児支援を行います。
- 2 16名の定員増に加え、必要に応じ定員の弾力化を行い待機児解消に努めるとともに、地域の方々との交流の充実や公的機関との連携を図ります。
- 3 新園舎での保育1年目にあたり、園児の安全と衛生対策に配慮し、園児、保護者が安心して利用できるように努めます。
- 4 職員育成計画に基づき、チューター制度、研修の充実により、職員の質の向上を図り、多様なサービスと質の高い保育を提供出来るように努めます。
- 5 国が進める「子ども・子育て関連3法」の制度改革に注目し、状況の変化に応じた適切な対応が出来るようにします。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
106.6%	108.9%	108.0%	105.0%

【重点支援目標】

- 1 子どもの運動量を増やし、上質な経験や体験、文化の伝承から、生きる力の基礎を育て、豊かな心を持った健康で逞しい子どもの育成を目指します。
- 2 子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりの発達に合わせたきめ細かい保育を保護者と協力しながら行います。
- 3 保育士等の適切な言葉かけや対応により、子どもの自己内対話能力を育て、自分で判断できる子どもの育成に努めます。
- 4 安全で衛生的な環境を用意し、保育園に蓄積された保育・保健・栄養等のノウハウを活かし、子どもたちが安心して過ごせるようにします。
- 5 異年齢で過ごすことにより、援助しあいながら、思いやりの心を育てる保育を行います。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
				園庭固定遊具設置	1,150	複合機購入	1,200
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	1,150	購入等合計	1,200

リース等(物件・年額)	金額
水槽	360
リース等合計	360

平成25年度 事業計画 (保育所)

施設名 **みなと保育園**

定員 **70**名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 保育士や友だちとの関わりを通して、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切に育てます。
- 2 知識・技能の専門性を高めるために内外の研修に積極的に参加するとともに、業務の適切な実践を図り、より良いサービスの提供ができるように努めます。
- 3 保育園の役割りや機能を十分発揮し、子育ての拠点として地域に根ざした保育園として定着するよう努めます。
- 4 安全対策の徹底を図ると共に、第三者評価・苦情相談等の声を十分に反映した事業や保育が出来るように努めます。
- 5 「子ども・子育て関連3法」のについて仕組みを把握し、状況の変化に合わせて適切な対応ができるようにします。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
99.0%	102.9%	103.0%	102.8%

【重点支援目標】

- 1 子ども達の「未来」を見据え、継続した育ちができるような保育に取り組み、「生きる力」の基礎を育てます。
- 2 創造的で自主的な活動が展開できる環境づくりをします。
- 3 家庭や地域との連携を図り、養護と教育が一体となった保育を展開し、より豊かな人間性を持った「こころ」を育てます。
- 4 避難訓練計画、災害時の役割分担の確認、マニュアルの見直し等に取り組み、周知徹底し、緊急時の対応に備えます。
- 5 職員の資質向上を図り、多様なサービスができるように努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
ノートパソコン × 6 (はぐくむ)	810	厨房タクト取付工事	2,710			調乳室床下工事	2,500
コピー機	1,030						
エアコン × 2	770						
購入等合計	2,610	購入等合計	2,710	購入等合計	0	購入等合計	2,500

リース等(物件・年額)	金額
印刷機	203
リース等合計	203

平成25年度 事業計画 (保育所)

施設名 **同援みどり保育園**

定員 **125** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 **子どもの人権を尊重し、一人ひとりの成長発達に対応した適切な養護と教育を行います。**
- 2 **子ども達が安心して園生活ができる安全で清潔な環境作りに努めます。**
- 3 **保護者や地域の子育て世代の方が必要としているニーズや意向を的確に捉え、就労支援や子育て支援を行います。**
- 4 **職員一人ひとりの能力向上の為に、園内外の研修に参加し「保育の質の向上」に努めます。**
- 5 **国が進める「子ども・子育て関連3法」の動向に目を向け、状況の変化に合わせて適切な対応ができるようにします。**

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
104.0%	103.2%	104.0%	104.0%

【重点支援目標】

- 1 **子どもたち一人ひとりの成長発達に合わせて、「生きる力・こころの育ち」を育む保育を実践します。**
- 2 **集団だからこそできる経験や多くの人々との交流の中で、子どもの主体的な活動や相互間の関わりを大切に自我や社会性を育みます。**
- 3 **子ども達が生活する環境を整え、安心して過ごせる生活の場を提供します。**
- 4 **保護者と連携をとり相互理解に努めながら、子育ての喜びを感じられるように育児支援に努めます。**
- 5 **地域社会の子育て拠点として、保育園の持つ機能を十分に発揮したサービスの充実に努めます。**

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
1歳児保育室 床暖房設置 監視カメラ設置	3,200 700	総合遊具 (すべり台) 4歳児保育室 エアコン取替	5,000 700	1.2歳児トイレ 改修工事	5,500		
購入等合計	3,900	購入等合計	5,700	購入等合計	5,500	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
印刷機リース	118
コピー機リース	185
リース等合計	303

平成25年度 事業計画(保育所)

施設名 **つつじが丘保育園**

定員 **110**名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 利用者の権利を尊重しながら、本園に蓄積された専門的知識技能を生かし、保育所の役割を果たします。
- 2 保育園を核として様々な機関や組織を連携し、地域の子育て支援、就労支援の充実に努めます。
- 3 待機児童解消に向け、年度当初より積極的な入所定員の弾力化を行ないます。
- 4 職員育成計画・チューター制度の充実・研修の充実を図り、多様なサービスと質の高い保育を提供できる人材育成を目指します。
- 5 国が進める「子ども・子育て関連3法」の動向に注目し、変化に応じた適切な対応ができるようにします。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込み	平成25年度目標
120.6%	116.5%	119.0%	119.9%

【重点支援目標】

- 1 子ども一人ひとりの発達段階や精神面・家庭環境を把握し、生活リズムを整えと共に、楽しく身体を動かし、健康な身体作りを目指します。
- 2 様々な実体験(命の大切さ、食育等)を通して、子どもの生きる力、感謝の気持ち、愛情を育てます。
- 3 生活や遊びの中で表現活動を楽しみながら基礎能力を身につけ、豊かな感性を育みます。
- 4 縦割り保育や地域世代間交流を通して、子ども達が共に生活し、互いに関わりながら優しさや思いやりの気持ちが育つように援助します。
- 5 安心、安全かつ子ども達が十分に遊びこめる環境整備の充実に努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
電話構内交換設備	1,200	便座交換・トイレ汚物洗い場	1,000	乳児ロッカー改修	2,300	保育室ドア修理	1,800
購入等合計	1,200	購入等合計	1,000	購入等合計	2,300	購入等合計	1,800

リース等(物件・年額)	金額
観察用水槽	355
リース等合計	355

平成25年度 事業計画 (保育所)

施設名 **同援さくら保育園**

定員 **108**名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 **社会環境や家庭環境を十分考慮し、子ども一人ひとりの成長発達に合わせた集団生活ならではの体験を多くする中で子どもの生きる力を育てます。**
- 2 **利用者アンケートの意見を反映し保護者の就労支援や地域の子育て中の方の育児支援の充実に努めます。**
- 3 **今まで積み重ねてきた保育を十分発揮し、保育園に求められているニーズに応えます。あわせて保護者の育児力向上に向けた情報提供に努めます。**
- 4 **一人ひとりの職員に合わせた研修計画や園内研修の充実に努め、職員の質の向上に努め多様なサービス提供を致します。**
- 5 **国が進める「子ども・子育て3法」の動向に目を向け、区との連携を十分に取しながら状況の変化に合わせ適切な対応ができるようにします。**

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
111.0%	109.1%	110.0%	109.2%

【重点支援目標】

- 1 **保護者の保育士一日体験を取り入れ子どもや園理解に繋げ、保護者と共に子どもの成長発達への援助やたくましいこころと身体づくりを進めていきます。**
- 2 **友達、職員、他施設の利用者の方、地域の子も達との関わりを大切に、「こころの豊かさ」を育てます。**
- 3 **集団だからこそ出来る活動や遊びや自然と触れ合う事を多くする中で、子ども達一人ひとりの自信に繋がります。**
- 4 **職員一人ひとりの保育技術力を向上させ、園児への楽しい活動の提供に努め豊かな感性をはぐくみます。**
- 5 **子ども達が安心安全に園生活を過ごせるよう環境を整えます。また、安心な食事の提供に努めます。**

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
防犯カメラ取付	1,250	2歳児クラス棚取	822	床補修	1,676		
はくむパソコン		作品展示用レール	578				
取り換え	670						
全保育室ドア鍵取付	511						
購入等合計	2,431	購入等合計	1,400	購入等合計	1,676	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

2 高齢者支援系施設の経営

養護老人ホーム、軽費老人ホーム、救護施設、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンター、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、並びに地域包括支援センター等を経営します。

1 グループ方針

地域に根差した拠点施設として地域の方々や利用者、家族に安心と安全を提供できる体制を創ります。また、様々なニーズに対応できる利用者本位のサービスを広げていけるように専門性を育て高品質サービスの構築に努めます。

2 グループ目標

1 残存能力を活かした自立を支援します。

2 利用者の人権に配慮し、自己決定に基づく介護を行います。

3 地域の拠点施設として、福祉の心を広げられるよう開かれた施設を展開します。

4 心に寄り添うことを目指し、思いやりと安心感の広がる介護を目指します。

5 個別対応に配慮し、顧客満足第一の介護を目指します。

6 業務改善に多角的に取り組み、安心安全の経営を目指します。

1 養護老人ホーム

65歳以上であって、心身上もしくは精神上または環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な方を養護します。

2 軽費老人ホーム

60歳以上で生活費に充てることのできる収入が定められた基準以下で、身寄りのない、あるいは家庭の事情によって家族との同居が困難な方を利用契約により無料又は低額な料金で、日常生活に必要な便宜を供与します。なお、ライトホームは、自炊のできる程度の健康状態にある方が利用されます。

3 救護施設

身体や精神に障害があり、経済的理由も含めて日常生活をおくるのが困難な人たちが、健康に安心して生活できるよう、生活扶助を行います。

4 特別養護老人ホーム

65歳以上であって、常時介護を必要とされ、居宅においてこれを受けることが困難であり、介護保険法の規定による介護福祉施設サービスに係る施設介護サービス費の支給にかかる方等を養護します。

5 老人デイサービスセンター

65歳以上であって、日常生活を営むのに支障があり、通所により入浴・食事の提供・機能訓練等各種のサービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上並びにご家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ります。

6 地域包括支援センター

高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らせるように、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的な支援を行います。

7 認知症対応型共同生活介護

65歳以上で、認知症であるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、共同生活する住居で入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の援助を行う事業です。

8 小規模多機能型居宅介護事業

小規模多機能型居宅介護事業は、平成18年4月から始まった地域密着型サービスのひとつで、事業所に登録している利用者に対して、通い・訪問・泊まりのサービスを柔軟に一体的に提供し、介護の効果の高いサービスを提供します。

9 居宅介護支援事業所

居宅において介護保険で受けられる指定居宅サービスや特例居宅介護サービスなどの紹介、いろいろなサービスの調整、居宅支援サービス費にかかる費用の計算や請求などを要介護者の代わりに行う事業所です。介護支援専門員(ケアマネージャー)が、介護支援計画(ケアプラン)を作成したり、その他の介護に関する専門的な相談に応じます。

フジホーム	昭島市中神町1260
原町ホーム	新宿区原町3-8
ゆたか苑	豊島区长崎2-26-4
ひかり苑	東村山市富士見町2-7-40

10 介護職員初任者研修事業

介護職員初任者研修事業(通信)

平成25年4月1日より「訪問介護員養成研修(2級)」が廃止され「介護職員初任者研修」となりました。

「介護職員初任者研修」は、基礎的な知識・技術の修得を目的としたものです。介護の現場で働き始めて間もない方、またこれから介護の分野に携わるうとする方に向けて、介護の魅力を伝えつつ、雇用の拡大並びに高い介護人材の確保、介護福祉士を目指す職員の育成を目的としています。

開催期間 : 平成25年10月～12月 (定員)12名
研修内容 : 自宅学習 40時間、面接授業 78時間[約15日間]、
施設実習 : 12時間[介護実習8時間、同行訪問4時間]
主な会場 : 原町高齢者複合施設 地域交流室(東京都新宿区原町3-84)

平成25年度 事業計画 (養護老人ホーム)

施設名 **万世敬老園**

定員 **200** 名

【地域における施設ミッション】

養護を必要とする高齢者を護り、より良い生活に向かって、自立を支援します。

【重点運営目標】

- 1 新型養護老人ホームの処遇研究の実践から人材育成を図ります。
- 2 生活困窮者の積極的受入れで定員稼働率を充足します。
- 3 施設の老朽化に適時、適切に対応します。
- 4 地域活動の活性化により施設の社会化を図ります。
- 5 改築等の中期構想を視野に、財源の立て直しを図ります。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
100.1%	100.1%	100.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者本位の自由を尊重した、自主、自立への支援をします。
- 2 新型養護老人ホームの処遇研究の実践からケースワークを展開します。
- 3 利用者の安全、安心、快適な環境づくりの創意工夫をします。
- 4 心身の健康及び介護予防のための利用者の役割の再構築をします。
- 5 介護が必要な状態になっても出来る限り万世敬老園での生活が続くよう支援します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
大浴場タイル漏修理	645	エレベーター自動着床	7,000	大浴場ボイラー入替	8,500		
防災フィルム他防災品	540						
中庭出入口設置	911						
食堂トイレ改修	1,134						
購入等合計	3,230	購入等合計	7,000	購入等合計	8,500	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
寝具リース	3,500
居室防災カーテン	950
リース等合計	4,450

平成25年度 事業計画 (軽費老人ホームA型)

施設名 **サンホ - ム**

定員 **50**名

【地域における施設ミッション】

利用者本位に立った自立支援を実施すると共に地域に開かれた事業展開を目指します。

【重点運営目標】

- 1 個々人の状況をより把握し利用者本位の自立支援計画となるよう各部署連携の上で努力します。
- 2 専門性と人間性豊かな支援を行う体制となるよう自己研鑽に励み、資質の向上に努めます。
- 3 住環境の改善を計画的に進め、安心して安全な生活の場となるよう取り組みます。
- 4 地域に開かれた施設を目指し、利用者と共に、持てる力を発揮出来る体制を協同で作って行きます。
- 5 安定した経営を目指し、収支を考えて徹底した無駄の削減に取り組みます。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者主体の安全で衛生的な環境作りに努めます。
- 2 地域社会への参加を利用者、職員で共に考え、その方にあった社会参加を支援します。
- 3 個々の生活状況をより把握し、その方にあった自立支援がより機能するようなサービス計画を目指します。
- 4 御家族との情報共有を基本とし、個々にとってよりよい生活の維持となるよう努めます。
- 5 介護予防の視点に立った多様な活動に取り組み自立支援を助長します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
防災飛散フィルム	1,600	エレベータ補修	500	冷温水機補修	1,000	館内電灯交換工事	3,720
サ - クル室イス	1,150						
購入等合計	2,750	購入等合計	500	購入等合計	1,000	購入等合計	3,720

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (軽費老人ホームB型)

施設名 **ライトホーム**

定員 **50**名

【地域における施設ミッション】

利用者の自己決定に基づく自由で自主的な生活を支援します。

【重点運営目標】

- 1 利用者の意見、要望に耳を傾け、利用者との信頼関係構築を図ります。
- 2 個人の尊厳を護り自己決定に基づく自由で自主的な生活を尊重します。
- 3 快適な生活環境の提供と積極的な「見守り」で暮らしを支援します。
- 4 介護予防に重点を置き、個人の思いを尊重した計画と支援の展開に努めます。
- 5 業務の改善や革新、今後の施設運営に向け取り組むとともに、仕事に対する意欲を高め、働きやすい職場づくりを進めます。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
82.0%	78.3%	68.7%	84.0%

【重点支援目標】

- 1 要望・苦情には即時対応に心がけます。
- 2 個人の生活を護るために、個人と施設・家族・地域等の内外環境との調整にあたります。
- 3 個々のニーズ発掘と適切なアセスメントにより、支援計画の提示に努めます。
- 4 自立した生活が営めるように、個々の能力に応じた支援を致します。
- 5 各種活動を通じ、個々人の生活の幅を広げ、介護予防に努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (救護施設)

施設名 **昭島荘**

定員 **100** 名

【地域における施設ミッション】

利用者個人のライフスタイルやライフステージに合わせた支援を行う。

【重点運営目標】

- 1 利用者の高齢化や精神障害支援への対策を検討します。
- 2 豊かで充実した生活の実現を目指します。
- 3 ホームページ等により情報開示を促進いたします。
- 4 快適な生活が出来る環境作りに努めます。
- 5 ハード面及びソフト面のさらなる充実を図ります。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 セーフティネット機能強化と自立支援希望利用者の地域移行に向けた準備をいたします。
- 2 個別支援計画の充実を図ります。
- 3 安心して豊かに生活できる環境を整えます。
- 4 利用者サービスの標準化を進めます。
- 5 地域生活移行に向けた具体的な準備に入ります。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
食堂用椅子	1,260	洋室クローゼット解体撤去工事	1,664	本館LED設備工事	1,955	本館非常照明設備工事	2,442
行事使用折り畳みイス	1,449	ナースコール設置工事	2,917	作業棟LED設備工事	1,225	誘導灯設備リニューアル工事	2,478
事務所用両袖机	798	1階トイレ大便器交換	1,283	2階トイレ大便器交換	1,824		
クローゼット解体撤去工事北側	2,408			クローゼット解体撤去工事南側	1,967		
居室天井部塗装工事	2,067						
事務所回転椅子購入	514						
購入等合計	8,496	購入等合計	5,864	購入等合計	6,971	購入等合計	4,920

リース等(物件・年額)	金額
寝具リース	2,100
マットレンタル	910
リース等合計	3,010

平成25年度 事業計画 (特別養護老人ホーム)

施設名 **フジホーム**

定員 **100**名 短期入所専用 **4**名
空床利用 **6**名

【地域における施設ミッション】

地域ニーズを踏まえ、高齢になっても、安心して生活できるための拠点施設を目指し、福祉、医療と連携しながら、心に寄り添う介護を実践します。

【重点運営目標】

- 1 一人ひとりの尊厳ある生活を援助し、自立支援と心ある援助に努めます。
- 2 入所手続きを迅速に行ない、速やかな入所に繋げ、短期入所利用を促進し、介護が必要な高齢者がより多く利用できるよう努めます。
- 3 支援目標を明確にするため、家族参加のケアプラン会議を促進し、より個別ケアに配慮した介護を目指します。
- 4 専門性と優しさが調和した介護を目指し、介護技術、接遇技術の向上に努め、研修への参加、及び研究へ携わり、職員資質向上に向けて努力します。
- 5 食の安全、食材、食器などより楽しむための食事環境を提供します。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
96.0%	95.6%	94.0%	96.5%

【重点支援目標】

- 1 利用者本位・自己決定に基づいたサービスを提供します。
- 2 「寄り添う介護」をモットーに個別ケアをさらに推進し、QOLの向上を目指します。
- 3 安心・安全な生活環境の提供とケアマニュアルの習得により、事故予防、迅速な対応を行ないます。
- 4 福祉のオピニオンリーダーとして、地域やボランティアの方々との積極的な交流を行ない、活性的な福祉の町づくりを推進していきます。
- 5 利用者の健康において、嚥下困難者の早期発見を行ない、誤嚥性肺炎や可能な限り、口からの食事摂取が出来るようにケアの向上に努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
非常灯バッテリー交換	1,600	冷温水ポンプ1号機取替	700	冷温水ポンプ2号機取替	900	ガラス飛散防止フィルム	1,000
購入等合計	1,600	購入等合計	700	購入等合計	900	購入等合計	1,000

リース等(物件・年額)	金額
寝具	2,280
リース等合計	2,280

平成25年度 事業計画 (特別養護老人ホーム)

施設名 **ニューフジホーム**

定員 **100**名 短期入所専用 **4**名
空床利用 **6**名

【地域における施設ミッション】

地域の住民が、老後も安心・安全に暮らし続けられるよう、専門的ケアを積極的に地域還元するとともに、地域の方々が気軽に立ち寄れる特養ホームを目指す

【重点運営目標】

- 1 利用者の人権を尊重し、生活ニーズに応じた住環境の整備に努めます。
- 2 職員については、個人人材育成計画に基づき、職種・経験年数等に応じた体系的な研修やOJTを実施し、人材育成を図ります。
- 3 特養入所待機者情報の精度向上及び積極的需要開拓によるショート稼働率の向上等により稼働率の向上を図ります。
- 4 地域の期待に応えるとともに、安定的な施設経営を確保するため、介護度や認知症日常生活自立度の高い利用者を積極的に受け入れます。
- 5 コスト管理の徹底をおこない、健全で安定的な経営を行います。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
95.1%	95.7%	95.8%	96.5%

【重点支援目標】

- 1 丁寧で寄り添う個別ケアを実践し、ゆとりある生活を提供します。
- 2 各セクションの連携・協働を強化し、ケアプランに基づいた統一的な支援を推進します。
- 3 介護力向上を図り、より専門性の高いサービスの提供を実践します。
- 4 持ち上げない移乗を実践し、負担の少ないやさしい介護を行います。
- 5 外出支援を含むレクリエーションの充実を図ります。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
居室空調入替	968	居室空調入替	968	居室空調入替	968	トイレ改修(来客)	3,843
塗装工事(居室)	500	床張替え(居室)	698	診療空調入替	1,280	低床電動ベット	1,500
塗装工事(浴室)	1,586	間仕切り家具購入	630	事務所空調入替	827	温蔵庫	1,400
ガラス飛散防止	1,970					冷凍冷蔵庫	600
購入等合計	5,024	購入等合計	2,296	購入等合計	3,075	購入等合計	7,343

リース等(物件・年額)	金額
寝具リース	2,580
リース等合計	2,580

平成25年度 事業計画(高齢者デイサービスセンター)

施設名 **フジ・デイサービスセンター**

定員 **25**名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域の拠点施設として利用者の思いに添った多様な介護サービスの提供を目指す

【重点運営目標】

- 1 稼働率向上とニーズの充足のため、営業地域の拡大を図ります。
- 2 より質の高いサービスが提供できるよう、リハビリの強化を模索していきます。
- 3 各居宅介護支援事業所やご家族と連携を図り、きめ細やかなサービスを提供していきます。
- 4 職員育成を図り、より質の高いサービスが提供できるよう努めます。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
82.4%	76.1%	70.7%	78.0%

【重点支援目標】

- 1 個人が、在宅生活を継続できるよう、自立支援のサポートをします。
- 2 個々の利用者のニーズに合ったサービスを計画・実行します。
- 3 新しい介護技術の進歩に対応し、常に適切な技術を持って援助を行います。
- 4 ボランティアや地域の協力を積極的に受け入れ、多種多様なサービスを提供します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
非常食	504					冷温蔵車	1,500
購入等合計	504	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	1,500

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (高齢者デイサービスセンター)

施設名 **フジ・デイホーム**

定員 **10**名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域密着型通所施設として地域の方々のニーズに合ったサービス提供を目指す

【重点運営目標】

- 1 利用者個々のニーズ、能力に応じた援助を通して利用拡大を目指します。
- 2 温かい家庭的な雰囲気の中で利用者の社会的孤立感の解消ならびに心身機能の維持を図ります。
- 3 ご家族の気持ちに寄り添い、身体的・精神的負担の軽減に努めます。
- 4 居宅介護支援事業所や市内関連施設と連絡を密に取り、情報収集に努め、地域の声に対応できるよう努めます。
- 5 ボランティア、実習生を積極的に受け入れ、開かれた施設を目指します。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
91.0%	83.0%	80.0%	83.0%

【重点支援目標】

- 1 認知症の緩和ならびに身体機能の低下を防ぐために、体操など動きのある活動と創作などの静的活動をバランスよく組み合わせて提供します。
- 2 利用者各々のニーズに合った活動を個別に提供し、残存機能の維持ならびに向上を目指します。
- 3 特養やデイサービスの行事に参加したりデイホーム独自の行事を企画開催することで、より多くの人と触れ合う機会を作り、社会性の維持を図ります。
- 4 デイホーム通信や空き状況報告などにより、多くの情報を発信することによって、開かれた施設を目指します。
- 5 内外の研修に参加したりすることによって介護技術と知識の向上を図り、より安全で快適な介護を目指します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (高齢者デイサービスセンター)

施設名 **原町高齢者在宅サービスセンター**

定員 **12**名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域密着型サービスとして地域と繋がり、認知症高齢者の在宅生活を支援する。地域へ認知症の理解を図り安心安全な在宅支援の拠点となる。

【重点運営目標】

- 1 地域で暮らす認知症高齢者世帯のニーズを把握し、地域と繋がることで、安定した稼働率を図っていく。
- 2 利用者の権利を守り、法令を遵守し常に利用者主体のケアを行う。研修や職員教育を進め、スタッフの育成を実現する。
- 3 利用者本人、家族、他サービス事業者、介護支援専門員と連携を図り、的確なアセスメントに基づき、利用者のBPSDを軽減していく。
- 4 ヒヤリハットを十分に検討し、各スタッフと協同してカンファレンスを行い、リスクマネジメントを行う。利用者の苦情にもきちんと対応し改善を図っていく。
- 5 同法人、同地域にある原町ホーム、原町ホーム居宅介護支援事業所、榎町高齢者総合相談センター、高齢者複合施設と連携して地域につながるサービスを行っていく。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
93.1%	83.0%	76.0%	75.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者送迎においては地域特有の環境を考慮し、安全安心な移乗、移動を行う。
- 2 ケアプランに基づき、適確なアセスメントを行い、根拠のある認知症ケアを行う。
- 3 利用者個々の心身の状況及び在宅での生活状況の把握に努め、認知症利用者の自律した在宅生活を支援する。
- 4 利用者個々の健康状態を把握するようにして、医療連携を図る。
- 5 認知症利用者のBPSDの軽減を図れるよう、よい関係性を築き、自律した生活を支援していく。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (高齢者デイサービスセンター)

施設名 **原町デイサービスセンター**

定員 **12**名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域密着型サービスとして地域と繋がり、認知症高齢者の在宅生活を支援する。地域へ認知症の理解を図り安心安全な在宅支援の拠点となる。

【重点運営目標】

- 1 地域で暮らす認知症高齢者世帯のニーズを把握し、地域と繋がることで、安定した稼働率を図っていく。
- 2 利用者の権利を守り、法令を遵守し常に利用者主体のケアを行う。研修や職員教育を進め、スタッフの育成を実現する。
- 3 利用者本人、家族、他サービス事業者、介護支援専門員と連携を図り、的確なアセスメントに基づき、利用者のBPSDを軽減していく。
- 4 ヒヤリハットを十分に検討し、各スタッフと協同してカンファレンスを行い、リスクマネジメントを行う。利用者の苦情にもきちんと対応し改善を図っていく。
- 5 同法人、同地域にある原町ホーム、居宅介護支援事業所、榎町高齢者総合相談センター、同施設内の小規模多機能、グループホームと連携して地域につながるサービスを行っていく。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
/	/	/	75.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者送迎においては地域特有の環境を考慮し、安全安心な移乗、移動を行う。
- 2 ケアプランに基づき、適確なアセスメントを行い、根拠のある認知症ケアを行う。
- 3 利用者個々の心身の状況及び在宅での生活状況の把握に努め、認知症利用者の自律した在宅生活を支援する。
- 4 利用者個々の健康状態を把握するようにして、医療連携を図る。
- 5 認知症利用者のBPSDの軽減を図れるよう、よい関係性を築き、自律した生活を支援していく。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (高齢者デイサービスセンター)

施設名 **東大和市ふれあいデイセンターひかり苑**

定員 **12**名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

ご高齢者が在宅生活を維持できるよう個別ケアをする

【重点運営目標】

- 1 法人理念と施設理念を共有化して、主体的に業務遂行します。
- 2 業務の標準化を図り、根拠に基づくサービスを提供しより多くの利用を進めます。
- 3 地域包括ケアシステムを推進するため、関係機関との連携を強化します。
- 4 安全運転教育を推進して、無事故無違反を目指します。
- 5 環境に配慮したコスト削減、BCP(事業継続計画)に基づく施設運営をします。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
77.0%	68.4%	63.8%	85.0%

【重点支援目標】

- 1 関係機関や家族と連携して、認知症の周辺症状緩和します。
- 2 通所介護計画書に基づき、根拠のあるサービスを提供します。
- 3 利用者の資する能力に応じて、個別機能訓練を推進します。
- 4 地域住民(社会資源)を活用して、余暇活動の充実を図ります。
- 5 安心・安全・快適な送迎をするため、送迎ルートや座席を定期的に見直します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (地域包括支援センター)

施設名 **榎町高齢者総合相談センター**

【地域における施設ミッション】

高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、「高齢者のなんでも相談所」としての事業を展開していく

【重点運営目標】

- 1 平成22年度より、機能強化としてのスタッフ人員増となり、業務の細分化が図られている。機能強化された総合相談業務を引き続き行なっていく。
- 2 介護保険制度改正後、地域包括ケアがさらに重視されている。その体制を担う、地域の中核的な相談機関としての機能の強化を図っていく。
- 3 掲げた組織目標に沿った運営を行っていく。1. 高齢者の見守り体制の推進 2. 人材育成の向上 / 個人情報保護に関する職員意識の向上 3. 災害時支援体制
- 4 予防プラン50件(1名につき)の作成を行う。地域支援事業予防プラン年間120件作成していく。
- 5 出張相談・認知症サポーター養成講座等を継続して行い、普及啓発に努めていく。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
/	/	/	/

【重点支援目標】

- 1 高齢者が自分らしく生活を送り、その生活を継続するための支援を行なう。
- 2 保健・医療・福祉と地域の連携による包括的なサービスを行う。
- 3 「権利擁護」の支援に基づく支援を行なう。
- 4 包括的・継続的なケアマネジメントの支援を行なう。
- 5 社会福祉士・主任ケアマネージャー・保健師等の3職種によるチームアプローチを行なう。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (地域包括支援センター)

施設名 **昭島市中部地域包括支援センターあいぼっく**

【地域における施設ミッション】

高齢者が住みなれた地域で生活できるように、「自助・互助・共助・公助」の視点を大切に地域包括ケア実現に向けて事業を展開していく

【重点運営目標】

- 1 地域包括ケア体制を担う地域の中心的な相談機関としての機能の強化を図る
- 2 昭島市の見守りネットワークの中心的機関としての役割を果たし、医療機関・インフォーマルケア等も含めた地域ネットワーク構築に取り組む
- 3 社会福祉士・主任ケアマネ・保健師の3職種で緊密な連携をはかりながら、昭島市の他地域包括支援センターとも連携し地域のニーズに対応していく
- 4 生活機能の低下を予防し、要介護の状態にならないように自立支援の視点を大切にしながら、介護予防のケアマネジメントを行う
- 5 市民に向けての情報提供に積極的につとめ、地域包括支援センターの役割が市民に周知され、活用されるよう取り組む

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
/	/	/	/

【重点支援目標】

- 1 高齢者が、地域で自分らしい生活を安心しておくれるための支援と情報提供
- 2 保健・医療・福祉・地域の連携を推進し、見守りネットワークの実現に取り組む
- 3 「権利擁護」の視点に基づき、複合的な生活課題を抱える利用者や家族の支援にも他業種との連携を図りながら取り組む
- 4 包括的・継続的なケアマネジメントの支援を行う。地域のケアマネジャーとの連携を深める
- 5 社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師等の3職種によるチームアプローチを行う

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (認知症対応型共同生活介護)

施設名 **かえで**

定員 **9**名

【地域における施設ミッション】

認知症介護実践の専門機関として地域への啓発、情報発信を行う

【重点運営目標】

- 1 利用者の人権を尊重した、自立を支援するサービスの組織的な提供を行います。
- 2 利用者、ご家族への的確な情報提供に努めるとともに、苦情・相談への迅速な対応に努めます。
- 3 第三者評価の実施等、常にサービス改善・向上に努め、顧客満足への思いを念頭に置いたケアに努めます。
- 4 職員会議、ケース会議の定期的な開催による活力ある職場づくりを行うとともに、認知症高齢者への介護技術の習得に向けた積極的な研修参加を行います。
- 5 コスト削減を含めた業務改善と円滑な入退居を図り、安定した施設経営に努めます。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
89.3%	93.7%	96.1%	95.0%

【重点支援目標】

- 1 権利擁護、虐待防止の主旨に則り、セルフチェック及び外部評価等を活用し、日々適切なケアが提供できているか見直しを行います。
- 2 家庭的で季節感のある行事の充実により、日常生活に潤いを持つとともに、散歩や外出による身体機能の維持に努め、健康な毎日を過ごせるよう配慮します。
- 3 利用者の意思を尊重した食事内容の充実にも努めるとともに、利用者の自発的な準備・手伝い等への関わりに努めます。
- 4 日中の日課や活動を施設側で強制することなく、基本的な食事・入浴以外は利用者の自主性・主体性を尊重したケアに努めます。
- 5 地域社会の一員としての生活を大切に、様々な場面での地域交流を図るとともに、利用者個々の態様に合わせた個別支援の充実に努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
エアコン交換工事	750						
購入等合計	750	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (認知症対応型共同生活介護)

施設名 **原町グループホーム**

定員 **18**名

【地域における施設ミッション】

地域の方の「新宿区で暮らしたい」を地域とともに支えます。新宿区の大
切な社会資源として地域から必要とされる事業運営を目指します。

【重点運営目標】

- 1 利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場にたったサービスの提供に努めま
す。
- 2 個別の介護計画を作成することにより、利用者が必要とする適切なサービス
を提供します。
- 3 利用者、家族、地域住民同士が、ケアを「自分のこと」と捉え「自助・互助」の意
識付けを地域密着事業として展開していきます。
- 4 誰もが人として尊重されともに支えあう地域社会を目指し、新宿区に暮らす利用
者の「普通の暮らし」を実現させます。
- 5 地域の認知症高齢者が安心して利用できる、地域に開かれた「居心地のよいグ
ループホーム」を創造していきます。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
			90.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者の普段の生活スタイルを大切に、私達の存在が利用者の普段の暮らし
に溶け込むようなグループホーム作りを目指します。
- 2 利用者が可能な限り、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが
できるよう支援を行います。
- 3 利用者の生活の支援を行い、利用者の孤独感の解消及び心身機能の維持を
図ります。
- 4 認知症によって自立した生活が困難になった利用者に対して、家庭的な環境の
もとで、食事、入浴、排泄などの日常生活のケア及び心身の機能訓練を行いま
- 5 BPSD(行動・心理症状)の緩和など、適切な介護技術をもってサービスを提供し
ます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (小規模多機能型居宅介護事業)

施設名 **原町小規模多機能型居宅介護センター**

登録定員 **25** 名
 通いサービス **15** 名
 宿泊サービス **5** 名

【地域における施設ミッション】

要介護状態となっても、できる限り住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援する、地域の拠点としての役割を果たします。

【重点運営目標】

- 1 **やさしさを起点とした「介護」を目指し、ご利用者の安全・やすらぎ・尊厳を保障します。**
- 2 **地域に根差した事業所となり、共に支え合って生きる、地域のまちづくりに寄与します。**
- 3 **小規模多機能居宅介護事業の機能を生かしたケアマネジメントを充実させ、365日24時間サービスを提供し、住み慣れた地域で暮らせるよう支援します。**
- 4 **職員の資質を向上し、効率的・効果的な研修体制を整備し、創造的福祉サービスの展開に努めます。**
- 5 **効率的、効果的経営を目指します。開設初期年間稼働率75%**

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
			75.0%

【重点支援目標】

- 1 **ご利用者の持てる力に着目し、力を引き出し、「その人らしい」生活を支援していきます。(パーソンセンタードケア)**
- 2 **新設事業所であり、利用者の在宅生活を支えるための、より良いケアマネジメント・通い・泊まり・訪問サービスのあり方を研究し、構築していきます。**
- 3 **利用者の生活を支援し、サービス提供するための職員の能力を向上させ、標準化する取り組みを行います。**
- 4 **スウェーデン式ソフトハンドケア(ハプティックセラピー)を提供し、認知症の緩和に努めます。**
- 5 **地域福祉創造事業を展開します。**

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

3 障害者支援系施設の経営

障害者支援施設、心身障害者福祉ホーム、身体障害者福祉センター等を経営します。

1 グループ方針

障害者総合支援法の施行に対応し、安定した事業運営を目指します。そのためにも、各施設が相互に連携し、グループの機能強化を図ります。
虐待防止法の理解を深め日常の支援の検証を行うとともに、より高い意識を持ち、人権擁護に基づく支援を行います。
災害時の事業継続計画の見直しをグループ全体で取り組み、実行性のある防災対策と危機管理体制を整備します。

2 グループ目標

- 1 利用者ひとり一人の多様なニーズに対して、様々なサービスをマネジメントし、利用者満足度の高い支援を行います。
- 2 人材育成に関しては、計画的な人材育成を進めるため、研修、人事交流等を実施します。特に、コア人材の育成にグループとして取り組みます。
- 3 虐待防止法の施行に伴い、職員研修等の実施により、権利擁護の意識を徹底し、実際の支援に生かします。
- 4 グループホーム、ケアホームの設置を進め、地域での多様な住まいの支援に取り組みます。その後の継続した生活を支援するバックアップ体制の検討を進めます。
- 5 地域福祉に関しては、地域の関係機関とのネットワークを構築し、利用者の相談支援の充実を図り、地域の福祉計画推進に努めます。
- 6 各事業所の防災対策を見直し、実行性のある事業継続計画の策定に取り組みます。

1 障害者支援系施設

障害者自立支援法の多機能型施設として施設入所支援・生活介護(旧法:更生)・就労移行支援・就労継続支援B(旧法:授産)・短期入所事業を行います。

2 心身障害者福祉ホーム

豊島区内の心身障害者で特定の要件を満たす方へ、日常生活における援助等を行い、心身障害者の自立生活を助長します。また、併せて緊急一時保護も行います。

3 身体障害者福祉センター

東久留米市内の居宅で生活している15歳以上の心身障害者の方が、住みなれた地域社会の中で安心して生活が送れるように各種サービスを提供し、心身障害者の自立助長及び介護にあたる家族の福祉向上を図ります。

4 共同生活介護(ケアホーム)・共同生活援助(グループホーム)

障害のある方に生活の場を提供し、入浴・排泄または食事の介助、相談その他日常生活の援助を行い、自立した生活を営めるよう支援します。

平成25年度 事業計画 (障害者支援施設)

施設名 **さやま園**

定員	生活介護	90名	短期入所 専用	4名
	就労移行	6名	施設入所支援	96名
	計	96名		

【地域における施設ミッション】

権利擁護と地域移行を中心にした総合的な支援を行い、知的障害者のニーズや夢、希望をライフステージや社会環境に応じて実現します。

【重点運営目標】

- 1 総合支援法の動向を注視し、敏感に反応できるよう準備します。26年度に予定されているGH・CHの統一には特に、注意を払います。
- 2 長期資金計画を再検証し、建物管理の年次計画へと結びつけます。
- 3 被災後の事業継続(BCP)計画を検討し、シミュレーションを重ね、非常時に備えます。地域の2次避難場所としての機能も果たします。
- 4 生活介護の職員配置基準を1.7:1に引き上げ、利用者支援の充実を図るとともに、人員配置体制加算 を得て、収入を増加します。
- 5 虐待防止法の施行に伴い、年間研修として施設全体として取り組み、合理的配慮、意思決定支援の意義を確認します。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
98.0%	95.8%	93.0%	93.7%

【重点支援目標】

- 1 個別支援計画をより充実させ、利用者の夢と希望をくみ取るとともに、利用者それぞれに必要な配慮を盛り込んでいきます。
- 2 男性重度利用者のサービス利用(入所)を促進し、地域のニーズに応えます。
- 3 高齢化対策が遅れを取らないよう、検討委員会を機能的に運営し、ご本人、ご家族とも安心できるサービスを提供します。
- 4 地域移行の受け皿としてのグループホームを地域に建設します。介護度が高くとも利用できる、質の高いホームを目指します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
グラント整備	18,000	宿直室改装	1,000				
事務所改装	2,910	作業棟車いす仕様	1,500				
医務室固定資産	520						
医務室備品	700						
浴室追いつき装置設置	2,500						
購入等合計	24,630	購入等合計	2,500	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
寝具リース@50*100*365	1,825
車両リース(キャラバン)	780
マット	473
リース等合計	3,078

平成25年度 事業計画 (障害者福祉サービス事業)

施設名 **小茂根福祉園**

定員	生活介護	40	名(通所)
	就労継続支援B	30	名(通所)
	計	70	名

【地域における施設ミッション】

住み慣れた地域での「私らしい暮らし」を支援します。
地域と協働し住みやすく優しい街づくりに貢献します。

【重点運営目標】

- 1 変化する障害者福祉制度の動向と、板橋区の福祉施策の動向を把握し、適切な事業運営に努めます。
- 2 災害時の事業継続計画及び板橋区福祉避難所運営マニュアルに基づき、実行性のある訓練を積み、災害時に備えていきます。
- 3 就労継続支援B型の安定収入による工賃アップと働く意欲の向上を目指し、新たに「ゆたか苑」での日常清掃作業に取り組みます。
- 4 生活介護と就労継続支援サービスの有機的な連携により、多様化する障害者支援の幅を広げ、利用者の期待に応えていきます。
- 5 OJTや研修を活発に行い、職員相互の資質向上と、互いに高め合える職場風土を作っていきます。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
95.4%	86.4%	84.8%	90.0%

【重点支援目標】

- 1 アセスメントとモニタリングを重視し、利用者の意思決定に基づいた個別支援計画の作成を行います。
- 2 ゆたか苑での清掃を通して、清掃作業システムの構築と、清掃技術の向上を図り、安定した工賃収入を目指します。
- 3 地域の社会資源を活用し、住み慣れた地域の中で、自己実現が図れるよう支援します。
- 4 利用者による社会貢献活動や、外で働く体験を通して、社会の一員としての役割意識や人の役に立つ喜びを感じられるよう支援します。
- 5 障害者虐待防止法の施行に伴い、利用者の権利擁護を強化するための職員研修を重点的に行っていきます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
消防設備改修	1,200	パソコン購入	720	食器消毒保管庫購入	525	アコーディオン	1,000
キュービクル交換	3,124			加湿温蔵庫購入	900	カーテン改修	
通用口ドア改修	900			1階支援室ドア改修	2,500		
購入等合計	5,224	購入等合計	720	購入等合計	3,925	購入等合計	1,000

リース等(物件・年額)	金額
公用車	504
リース等合計	504

平成25年度 事業計画 (障害者福祉サービス事業)

施設名	立川福祉作業所		
定員	就労移行	10	名(通所)
	生活介護	30	名(通所)
	就労継続支援B	35	名(通所)
	計	75	名

【地域における施設ミッション】

地域で安心して暮らしながら仕事を通じ、いきがいやりがいのある人生となるよう就労支援や生活支援を行い自立を支援します。

【重点運営目標】

- 1 地域のニーズや制度に対応しながら利用定員や利用日数の弾力運用により、経営の安定を目指します。
- 2 アニメまちづくりの一環として立川市商工会議所・立川観光協会と協働して商品の開発や地域振興・まちづくりに取り組みます。
- 3 スポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会)のイベント等でのマスコットキャラクターのパンの販売を行います。
- 4 立川市施設交流会・自治会防災訓練・商店街会員の参加により地域との係わりをより深めながら地域福祉の向上に努めます。
- 5 障害者虐待防止法や障害者総合支援法など法令遵守し支援の現場に反映できるように努めます。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
90.0%	90.0%	88.4%	104.0%

【重点支援目標】

- 1 3事業の特性を活かし、個々のニーズや障害特徴・年齢・生活環境等を考慮して個別支援計画を作成し自立に向けて支援いたします。
- 2 製パン・受注作業・清掃活動をベースに新たな新規企業開拓、新商品の開発などに力を注ぎ工賃支給額の向上に努めます。
- 3 就労支援では、各市区町村のハローワークや就労支援センターと連携し、企業就労の促進や定着支援も行います。
- 4 地域への退所に関しては、地域サービスの利用方法や情報提供に努めスムーズな移行と退所後のアフターケアも行います。
- 5 年間を通してイベントなどに参加し、ボーナス支給額の維持に努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
測量費	800	作業用品修理	850	店舗備品	500	製パン器具修理	500
地盤調査費	800						
購入等合計	1,600	購入等合計	850	購入等合計	500	購入等合計	500

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (障害者福祉サービス事業)

施設名 **東村山生活実習所**

定員 生活介護 **30**名(通所) 短期入所 専用 **2**名
 就労継続支援B **10**名(通所)
 計 **40**名

【地域における施設ミッション】

利用者のニーズに合わせて、安心して充実した地域生活がおくれるよう関係機関と連携しながら支援する

【重点運営目標】

- 1 障害者総合支援法をはじめとした福祉関連法の動向を把握し、事業の安定した運営に努めます。
- 2 地域にある様々な福祉資源と連携し、利用者の地域での生活が安心したものになるように、利用者を中心としたネットワーク作りをします。
- 3 利用者の安全の確保を第一にした防災対策を強化し、事業の継続を可能な限りすすめ、災害時にも適切な事業運営を行います。
- 4 障害者虐待防止法の施行に伴い、権利擁護に関してさらに高い理念のもと利用者支援を行います。
- 5 職員の資質向上を図り、人材育成に努めます。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
80.0%	94.0%	95.0%	95.0%

【重点支援目標】

- 1 事業の安定運営を図るため、三事業のそれぞれの収支バランス等を考慮し、必要に応じて、定員外の利用者の確保やコストの削減等に努めます。
- 2 職員一人一人が地域の福祉施設等と関係をもち、通所利用者のサービス向上にとどまらず、地域福祉の向上についても寄与できるよう参画します。
- 3 災害時の事業継続活動計画の見直しをはじめ、必要な防災対策の強化を行います。
- 4 人権意識、権利擁護について、特に障害者虐待防止法について正しい理解をし、利用者サービスにいかします。
- 5 職員一人一人の育成計画を見直し、事業に必要な人材の育成に努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
支援費請求システム	668
リース等合計	668

平成25年度 事業計画 (心身障害者福祉ホーム)

施設名 さくらんぼ

定員 14名

【地域における施設ミッション】

利用者のニーズに合わせ、24時間、365日安心して、充実した生活を送れるように支援します。

【重点運営目標】

- 1 指定管理受託に向け、長期自立援護、緊急一時保護、レスパイト、短期利用の事業を柱に、多種多様なニーズに対応できるよう支援内容の充実を図ります。
- 2 地域移行を目的としたさくらんぼの役割を家族、関係機関と共有し、連携することで、地域の理解を深めていきます。
- 3 さくらんぼ、移動支援、グループホーム、ひとり暮らし支援等の事業の情報を発信し、地域で生活する障害者の生活の充実を図ります。
- 4 障害者虐待防止法の施行に伴い、職員研修等の実施により、職員が人権擁護に基づいた支援を実行します。
- 5 障害の多様化に対応できる居住空間の整備、安全対策を実施します。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
/	/	/	/

【重点支援目標】

- 1 利用者主体の施設として、利用者の意向に沿い、また、利用者の全体像をとらえ、将来も見据えた支援をします。
- 2 長期自立援護サービスの利用者には、地域移行に向けて相談、体験、振返りなど繰り返し、本人が主体的に生活できるよう支援します。
- 3 緊急利用が長期化する現状から、今後の生活の見通しを区と共有し、ひとりひとりの状況に合わせ家族全体を支援します。
- 4 多様な障害者に対応できるよう研修等の実施により、職員の支援技術の向上を図ります。
- 5 さくらんぼ退所後の地域生活を支援するため、地域の関係機関との情報共有を推進します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		1,2階間仕切り工事	500				
購入等合計	0	購入等合計	500	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画(身体障害者福祉センター)

施設名 **さいわい福祉センター**

主な事業	地域活動支援センター事業	生活介護
	都型ショートステイ事業(宿泊)	就労移行支援事業
	日中一時支援事業	居宅介護事業
	就労支援事業	

【地域における施設ミッション】

24時間365日地域福祉の拠点として必要なサービスを提供し、安心して地域生活ができるよう支援します。

【重点運営目標】

- 1 総合支援法施行の動向を把握し、制度変更の情報や手続等を迅速に行い、必要なサービスが円滑に提供できるよう事業運営を行います。
- 2 虐待防止法の理解を深め、権利擁護や虐待ケースへの対応にセンター機能を有効に活用します。
- 3 災害時事業継続について具体性のある計画案を作成し、防災対策を強化します。
- 4 第三者評価を受信し、今後の事業運営に反映します。
- 5 職員処遇(介護人等)の改善を図り、安定した人材確保と育成に努めます。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標

【重点支援目標】

- 1 必要な人に必要なサービスが柔軟に提供できるように、地域活動支援センター事業を主として各事業の運営のあり方を検討し、試行します。
- 2 利用者のアセスメントを丁寧に行い、特定相談事業(サービス等利用計画作成)が市の福祉計画の数値目標に近づくよう、関係機関と連携して取り組みます。
- 3 地域の就労支援事業所とともに、障害者の雇用促進と職場体験実習の場を確保できるように取り組みます。
- 4 自立支援協議会の事務局として、協議会の運営体制が整備され部会活動等が円滑に実施できるように協力していきます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
				点字ブロック修理	600	入浴室改修工事(協議)	
				ビニールハウス改修工事(協議)			
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	600	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画(共同生活介護・共同生活援助事業)

施設名	アミニティ富士見	定員	6名	東村山市富士見町2-10-38
施設名	グリーンハイツ	定員	6名	東村山市野口2-25-60
施設名	フレンズ・モエ	定員	4名	東大和市清水6-1189-3
施設名	パル	定員	6名	東村山市本町4-17-1
施設名	それいゆ小川	定員	6名	小平市小川東町1-39-6
施設名	ファーム竹丘1	定員	6名	清瀬市竹丘3-12-4
施設名	ファーム竹丘2 (上記7か所バックアップ施設 さやま園)	定員	7名	清瀬市竹丘3-12-5
施設名	レジオンス巣鴨	定員	4名	豊島区巣鴨5-15-8
施設名	はなみずき	定員	4名	豊島区池袋3-70-14
施設名	ユーカリ (上記3か所バックアップ施設 さくらんぼ)	定員	4名	豊島区长崎2-16-18
施設名	夢オハナ	定員	6名	国立市中1-13-48
施設名	結オハナ (上記2か所バックアップ施設 立川福祉作業所)	定員	6名	昭島市朝日町3-3-18

【地域における施設ミッション】

利用者が地域で生活の主体者となるよう支援します

【重点運営目標】

- 1 平成26年度の障害者総合支援法でのグループホーム一本化に向けて情報把握し、適切な対応を進めます。
- 2 地域での充実した生活を送れるよう新しくケアホームを設置していきます。
- 3 虐待防止法の施行に伴い、世話人、生活支援員が利用者の権利擁護、個別支援を柱とした支援を進められるよう研修を実施します。
- 4 サービス管理責任者が、世話人、生活支援員と業務の見直しを行い、運営の適正化、安定化を進めます。
- 5 災害時の対応を含めた防災計画の見直し、訓練の充実を図り、利用者が安心できる生活を提供します。

【重点支援目標】

- 1 利用者が仲間と安全に、安心して憩える住まいを提供し、個別支援計画に基づいた多様な生活を提供します。
- 2 利用者の家族、就労先、関係諸機関との連携を図り、利用者が地域で安定した生活を継続できるよう支援します。
- 3 社会資源の活用や、地域活動への参加により(各種習い事や教室等)、生活がより充実するよう支援します。
- 4 災害時を想定して対応できるよう防災訓練を充実させ、利用者の防災意識を高めるとともに、安心して生活できる環境を整えます。
- 5 近隣、地域と積極的にかかわり、地域の理解を広め、利用者が当たりまえに地域住民として生活できるよう支援します。

4 児童・女性支援系施設の経営

母子生活支援施設、児童養護施設、婦人保護施設、児童厚生施設等を経営します。

1 グループ方針

- ・子どもの健全育成と子ども・女性・親子の自立支援を行います。
- ・職員の資質向上と、業種間の相互理解を深めます。
- ・各業種に共通した専門性の確立を目指します。
- ・法令を遵守し、権利と尊厳を擁護します。
- ・職員のメンタルヘルスケアの充実及びハラスメント防止に努めます。
- ・地域に対してネットワークが活かせるように施設機能を提供します。

2 グループ目標

- 1 自立支援
利用者個人の価値観を尊重し、ニーズに応え一人ひとりの自立を支援します。
- 2 人材の育成と資質向上への取り組み
職員個人の育成計画に基づいて、人材育成を行います。
- 3 支援及び児童厚生の実践
施設機能の特性を生かしつつ、チームケアの向上と共にアタッチメントを中核に据えた支援に取り組みます。
児童の健康を推進して豊かな情操を育てるために交流の場や遊べる場、楽しめる行事を提供します。
- 4 コンプライアンスと個人情報の保護
法人の同援憲章を基本に、法令・諸規則を遵守し、誠実かつ公正で適性な施設運営を目指します。また、利用者の人権を尊重し個人情報を保護します。
- 5 職員のメンタルヘルスケアの充実及びハラスメント防止への取り組み
心身共に健康に働くことができる職場環境を充実します。
個人個人を尊重し、行動する職場環境を整えます。
- 6 地域との関わりを深める
施設機能や情報等を地域に開放し、地域及び関係機関との連携、協力関係を深めます。また、地域に安全に過ごせる場を提供し、遊びや学習等を通して、子どもの健全育成を図ります。

1 母子生活支援施設

18歳未満の子供を養育している母子家庭等の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。利用者の心身と生活を安定するための相談・援助を進めながら、自立を支援しています。

2 児童養護施設

乳児を除いて、保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童を養護し、あわせてその自立を支援します。

3 婦人保護施設

売春防止法に基づく未然防止と自立のための支援を必要とする女性を保護し、生活及び就労支援を行います。

4 児童厚生施設・放課後児童健全育成事業

児童福祉法により定められた福祉施設として、児童に健全な遊び場を提供し、健康を推進して豊かな情操を育てるために児童センターを運営します。
また、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後等に児童センターを利用して、学童クラブを運営し健全な育成を図ります。

平成25年度 事業計画 (母子生活支援施設)

施設名 **サンライズ武蔵野**

定員 **20**名・世帯 緊急一時保護 **1**名・世帯

【地域における施設ミッション】

母と子の「こころ」を支え、安全で安心できる環境を提供します。

【重点運営目標】

- 1 杉並区との連携を図りながら、新規事業の緊急一時保護事業、電話相談事業の円滑な運営に努めます。
- 2 改築2・3期工事で完成した居室等を使用し始めるにあたり、利用者の生活に支障のないよう点検し、より安全に使用できるようにします。
- 3 昨年度検討したマニュアルを再度点検して、より新施設に合ったものにしていきます。
- 4 定員変更(10世帯→20世帯)に伴う収入状況をしっかり把握し、適切な支出を行って運営していきます。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
56.8%	63.9%	97.5%	90.0%

【重点支援目標】

- 1 施設が自立のステップの場、共同生活の場であることを理解しやすいよう支援していきます。
- 2 利用者個々の課題解決状況に合わせた支援とサービスを行います。
- 3 10世帯から20世帯へ定員変更するため、世帯構成を配慮した個別支援・行事等を行います。
- 4 学童の個別面談を確実に実施し、個々の状況を把握し、各職員への情報提供や母親へのフィードバックをすることで、支援の向上に努めます。
- 5 学童、特に中高生の学習支援・生活支援を更に充実させていきます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (母子生活支援施設)

施設名 **サンライズ青山**

定員 **20**名・世帯 緊急一時保護 **1**名・世帯

【地域における施設ミッション】

母と子がともに心を癒し、安心した自立生活の回復に向けて支援する。

【重点運営目標】

- 1 環境整備を行い、安心・安全・安定が実感できる生活の場を提供します。
- 2 DV被害・被虐待児等の様々な課題を抱えた母子を積極的に受け入れます。
- 3 地域ニーズに応じて施設機能を提供し、緊急一時保護を含めた利用率の向上を図ります。
- 4 職員が心身ともに健康でやりがいのある職場環境を整え資質向上を図ります。
- 5 関係諸機関等とのネットワークを結び地域協働体制作りを目指します。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
97.5%	94.0%	96.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 母子が主体的に地域生活へ移行できるよう自立支援計画をもとに支援します。
- 2 精神的ケアの必要な方へ心理専門職員による一人ひとりに応じて支援します。
- 3 地域交流等の各種行事を通して、心身の安定と生活の潤いが育めるよう支援します。
- 4 社会資源活用力が向上できるよう情報提供や相談援助、関係調整の支援をします。
- 5 アフターケアで家庭訪問・相談助言・退所者向け行事等を行い、地域生活定着の支援をします。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (母子生活支援施設)

施設名 **サンライズ万世**

定員 **20**世帯 緊急一時保護 **2**名・世帯

【地域における施設ミッション】

母と子が地域の中で共に生き、共に育ちあう生活の拠点としての役割を果たします。

【重点運営目標】

- 1 法人の理念・方針に基づいて、利用者が安全で安心して生活が送れる環境を整えます。
- 2 職員の資質向上のため、職員個人育成計画に基づいて人材育成を行います。
- 3 全母協倫理要綱及び関係法令等の理念を踏まえ、誠実かつ公正で適正な施設運営を行います。
- 4 職員が健康で快適に働くことができるように、また、一人ひとりを尊重し、行動する職場環境を作ります。
- 5 地域の社会資源となるように、施設機能を地域に開放及び提供します。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
97.4%	95.0%	95.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 一人ひとりの意思や人権を尊重します。
- 2 利用者個人の価値観を尊重し、自立支援計画に基づいて、サービスを提供します。
- 3 子どもが心身ともに健やかに育つように、母親・保育園・学校等と連携を重視し支援します。
- 4 精神的ケアを充実させるために、アタッチメントを中核に据えた支援を行います。
- 5 アフターケアとして退所者については、家庭訪問や電話等の相談その他の援助を行い、課題に対して関係機関と連携します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
居室エアコン(17室)	1,538	居室照明取替(20室)	2,000	受水槽ポンプ	1,045		
居室窓ガラスフィル	1,450						
居室流し台改修随 (4室随時)	1,500						
居室IHコンロ(5台 退所の都度)	875						
購入等合計	5,363	購入等合計	2,000	購入等合計	1,045	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
衛生器具レンタル	163
モップ等レンタル	48
リース等合計	211

平成25年度 事業計画 (児童養護施設)

施設名	双葉園	定員	38	名・世帯
施設名	高嶋の家(地域小規模)	定員	6	名・世帯
施設名	くすのき(地域小規模)	定員	6	名・世帯
		計	50	名・世帯

昭島市子どもワイルドステイ事業 2名

【地域における施設ミッション】

子どもの人権を守り自立を支援します。

【重点運営目標】

- 1 施設設備の維持管理、人材確保等、適切な予算執行、円滑な事業活動に努め健全で透明性のある施設運営を目指します。
- 2 「要保護児童対策地域協議会」への積極的関与や学校等との連携を深め、地域社会における児童福祉推進の拠点としての役割を果たします。
- 3 昭島市より「子どもワイルドステイ事業」を受託し、地域の子育てを支援します。
- 4 26年度専門機能強化型児童養護施設への移行を目指し環境整備を図ります。
- 5 本園の小規模ユニット化計画について、都の方針を見極めながら検討を開始します。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
97.6%	95.5%	98.9%	98.0%

【重点支援目標】

- 1 「子どもの最善の利益のために」チームケアを推進します。
- 2 自立支援コーディネーターを中核として、一人ひとりに合った自立支援計画を作成し入所から退所後までを視野に入れた一貫性ある支援とアフターケアを実施します。
- 3 愛着障害を普遍的な課題と捉え、人間関係の再構築を図ります。
- 4 専門機関等の社会資源を活用し、予想される問題性を早期に発見し、適切な対応を図ります。
- 5 子どもが安全で安心した生活を送れるよう環境を整え、児童の権利擁護の保障と安全意識を持った支援を行ないます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
				ガスヒーポン修繕	900		
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	900	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
グループホーム賃借料	3,150
リース等合計	3,150

平成25年度 事業計画 (婦人保護施設)

施設名 いこいの家

定員 40名・世帯

【地域における施設ミッション】

女性の人権を守り、心のケアと、一人ひとりの自立を支援します。

【重点運営目標】

- 1 売春防止法、DV防止法及び人身取引行動計画に基づき、女性の人権を守り、必要な心のケアを行うとともに、一人ひとりのそれぞれの自立を支援します。
- 2 一時保護を利用する子どもたちに安全と安心を提供し、その心のケアとともに健全な育成を支援します。
- 3 質の高いサービス提供のために、職員の個別育成計画に基づき、さまざまな機会を利用してすべての職員の意識改革を行い、人材育成に努めます。
- 4 第三者評価の受審、苦情解決制度の活用、職員研修等を充実させ、グループ全体として取り組むことでより一層のサービス向上を図ります。
- 5 施設機能を地域に開放し、地域及び関係機関との関係性を深めます。また女性差別、障害者差別の撤廃のための啓蒙活動を行います。

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
71.4%	69.0%	73.0%	80.0%

【重点支援目標】

- 1 生きづらさを抱えざるをえない女性たちが自尊感情を持ち、自信を取り戻して生活再建ができるように支援します。
- 2 一時保護を利用する子どもたちへの心のケアとその年齢にあった発達を視野に入れた支援を行います
- 3 一人ひとりの支援をよりレベルの高いものとするために、各職種が協働して支援体制の充実を図れるようにします(チームケア体制の充実)
- 4 心理士の業務をより充実させ、女性と子どもの精神的ケアに重点を置いた支援をします。
- 5 退所者自立生活援助事業、アフターケアの充実をはかり、地域の関係機関と連携します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
LED照明	1,450	防災羽毛布団	950	冷凍冷蔵庫 ピアノ	794 550	1階廊下喫煙室 静養室サッシ交換	620 610
購入等合計	1,450	購入等合計	950	購入等合計	1,344	購入等合計	1,230

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成25年度 事業計画 (児童厚生施設・放課後児童健全育成事業)

施設名 昭島市児童センターぱれっと・つつじが丘北学童クラブ

定員 児童センター 名
学童クラブ 50 名

【地域における施設ミッション】

子どもたちが安心して過ごせる場を提供し、遊び・学習などを通して健康で情操豊かな育成をする。

【重点運営目標】

- 1 運営委託業務を円滑に進めるため、市との連携を強化し、安定した運営事業を行います。
- 2 関係機関、他事業所との連絡を密にし情報収集をしながら、より充実した事業内容を目指します。
- 3 職員会議、研修等を充実させ接遇マナー、コンプライアンスの認識を深め実行いたします。
- 4 危機管理対策についてマニュアルを整備し、非常時に実践できる体制をつくりま

【施設目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込	平成25年度目標
/	/	/	/

【重点支援目標】

- 1 年齢差のある多数の子どもたちが、お互い協調しながら遊べる場、親子と一緒に楽しめる場を提供します。
- 2 行事を充実し、多くの子どもたちが積極的に参加するようにいたします。
- 3 遊びや学習のサポートをしながら、子どもたちの健全育成に努めます。
- 4 障害のある子どもも安心して利用できるよう、専門性を高めます。
- 5 自転車の安全運転や防災・防犯教室、保健衛生指導など、子どもたちの安全衛生管理教育を実施いたします。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

5 医療事業施設の経営

平成25年度 事業計画(医療事業施設)

施設名 昭島病院

定床 199名

【地域における施設ミッション】

地域の中核病院として、救急医療の積極的受入れと安全かつ質の高い医療の提供

【重点経営目標】

- 1 将来を見据えた財政運営と一層な効率的運営を図る
- 2 経営目標を設定し、その実現に努める
- 3 連携病院等の一層の確保に努めるなど地域連携の充実を図る

【病床目標利用率】

平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度見込み	平成25年度目標
81.9	80.5	76.3	85.0

【事業計画の基本事項】

- 1 職員のコスト意識の徹底による経費見直し
- 2 スタッフの医療技術の一層の向上と認定看護師、専門看護師などの確保・取得等への積極的支援
- 3 新規入院患者の一層の増加を図り、在院日数の短縮化と入院患者数の確保増
- 4 新たな医療サービスの提供について、その導入のため積極的な検討

【診療運営計画】

- 1 医療事故の防止等の一層の強化
- 2 チーム医療の拡充による医療の質の向上と効率化
- 3 救急患者の一層の受入と入院・外来の単価アップ
- 4 DPC対象病院として、より適切な医療資源の投入
- 5 放射線医用画像情報管理システムの構築

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
眼圧計	1,725	手術用内視鏡システム	8,281	PACS	51,975	除細動器	1,166
				白内障手術機器	51,000		
				骨密度測定装置	9,660		
				電動ベッド	5,000		
購入等合計	1,725	購入等合計	8,281	購入等合計	117,635	購入等合計	1,166

リース等(物件・年額)	金額
イメージネオMC C5002	376
エアマット	1,345
オムロン遠隔監視装置SW150LF	202
省エネルギーシステム(ESCO事業)	3,080
リース等合計	5,003

平成25年度 事業計画 (医療事業施設)

訪問看護ステーション

病気や障害を持った方が、慣れ親しんだ地域やご家庭で、療養生活を送れるよう看護師等が訪問し、看護ケアを提供します。

施設名 昭島病院訪問看護ステーション

【地域における施設ミッション】

高齢化の進展に伴い、在宅医療・看護の重要性が増す中で、訪問看護を通して、高齢者等が、地域において出来るだけ生活できるよう支援する

【重点経営目標】

- 1 緊急訪問等に対応できるよう体制の構築と安定した経営を一層図るため、訪問回数320回/月を目標とする
- 2 サービス提供体制強化加算を確保する
- 3 電気自転車でもコストの削減に努める

【事業計画の基本事項】

- (1) 1日16件の訪問を目標とする
- (2) 研修に参加し、家族指導への知識および技術の向上に努める
- (3) 地域交流会への積極的参加と家族会の定期的開催を行う
- (4) 入院から在宅、在宅から入院へスムーズな調整に努める

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
						車	800
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	800

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

6 収益事業の経営

1 オフセット・活版印刷事業

施設名 **事業局**

【重点経営目標】

1 安定した運営の為の収入増を図ります。

2 安全で環境にやさしい作業体制を目指します。

【事業計画の基本事項】

(1) オンデマンドの受注増加を目指します。

(2) デザイン編集の受注増を図ります。

(3) 更なるリサイクル紙の使用と無駄紙の発生の根絶を目指します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
車	2,500						
購入等合計	2,500	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

2 不動産賃貸に関する事業経営

旧サンホーム跡地を活用し暫定的に駐車場として経営します。
富士見町駐車場 東村山市富士見町2-7-14(旧サンホーム跡地)

原町ホーム東側外構の一部を隣接マンション緑地帯として有償貸与します。原町ホーム土地賃貸業 新宿区原町3-8(原町ホーム敷地)

昭島病院敷地内で来院者用駐車場の経営をします。
昭島市中神町1260

職員福利厚生制度並びに職員研修制度

本年度の職員福利厚生事業・職員研修は、下記により実施します。

1 永年勤続者表彰

10年勤続、20年勤続および30年勤続職員の表彰を実施します。

定年退職者表彰

定年退職前勤続10年以上の職員の表彰を実施します。

2 人間ドック検診の実施

40才、50才、60才の職員が人間ドックを受診する際、その費用を助成します。

婦人科検診の実施

35才以上の女性職員（社会保険加入）が婦人科検診を受診する際、その費用を助成します。

3 福利厚生センター事業の利用

社会福祉法人福利厚生センターの福利厚生事業（ソウェルクラブ）に加入
職員の福利厚生の向上を図ります。

4 職員のメンタルヘルスケアへの取り組み

EPA（従業員支援プログラム）に加入し、職員ならびに家族（同居）休職者・復職者への支援カウンセリング等を行っています。

5 事業所内保育施設「あっぷる」の運営 昭島市中神町 1260

定員 15名 保育時間 7時～21時

夜間保育（月4回）16時～翌10時

0歳（生後2カ月）から小学校就学前までの、職員の子供を預かり保育します。

6 法人研修計画

基礎研修（5月）：経験年数1～3年の職員を対象

ビジネスコミュニケーション技術の習得、傾聴力、質問力、話すスキルのポイントを学び実践に生かす研修を行います。

中堅研修（6月）：経験5年程度の職員を対象

・プロフェッショナルな人材の特徴を理解する

・自己理解を深め、対人関係能力の向上への啓発ポイントを探す

自分に期待される役割を理解し今後の取り組み課題を明確にするアクションプランの作成をします。

上級研修（9月）：経験10年程度の職員を対象

テーマ「変革リーダーとしてのあり方を理解する」

自職場を取り巻くビジネス環境変化に対し、自己の役割の再認識
変革を実践する～業務改善

リーダーの為すべき人材育成とスキル

メンタルヘルス研修（7月）：施設職員を対象

メンタルヘルスが必要となっている具代的事例に対して、現場の職員がどのように対応していくべきなのかを習得します。職場不適應者への対処の仕方・復帰のポイント、カウンセリングマインドで聴くことなどを研修します。

ハラスメント研修（9月）：一般職員を対象

ハラスメントへの対応が必要となっている事例に即して職員がどのように対応していくべきなのかを習得します。

課題別研修

チューター研修（5月）

OJTによる育成計画の策定方法・実際の仕事の指示の仕方・ほめ方・しかり方等具体的な進め方を習得し、実践力を高めます。

文書研修（11月）：適切な文書と契約事務研修

社会福祉法人文書のハウツーと適切な契約事務を学びます。

人事考課研修（11月）：施設長対象

制度実施7年目の適切な運用を目指し、人事考課者への研修を行います。

リスクマネジメント研修（2月）

クレーム対応の基本を学び、新たな事例を分析し研修します。

幹部候補者研修（5、9、10、2月）

新制度1年目の研修として、法人内研修2回、外部研修受講2回及び他施設（又は他法人施設）研修を行います。この研修を通して、施設運営に関する基礎的能力を付与するとともに管理職候補者としての自覚を醸成します。

新任フォローアップ研修（10月）：今年度採用された新任職員を対象

変革の時代のビジネスパーソンに求められること、半年間の職場生活の振り返り、次のステップへ向けた目標の設定などフォローアップと合わせ研修します。

新規採用プレ研修（1月）：今年度新規採用予定者を対象

同援の理念・特色等を学びます。

新任研修（3月）：新任採用者及びそれに準ずる職員を対象

ビジネスマナーの基本、仕事の進め方、報告・連絡や相談、質の高い仕事をするためのコツについて研修をします。

施設長研修（11月）

人材育成の課題とは何か、人材育成のためのスキルアップ、育成手段の最適化について理解します。

副施設長研修（9月）：副施設長及び管理職候補者を対象

リーダーの役割、リーダーに求められること、リーダーコミュニケーションを身につけます。

庶務担当研修（通年）：法令改正、年末調整等の理解を深めます。

経理担当研修（通年）：経理事務の理解を深めます。規程、関係通知等に基づく正確な経理事務、業種別の月次、決算の実務研修を行います。

グループ別研修

グループ別において、通年3～4回ほど各テーマを定め専門的な課題の研修を実施します。また、グループ内だけでなく他業種、他施設での研修を通して、連携を必要とされている異業種の理解を深めると共に職員の視野を広げ資質向上を図る目的で、各グループ間交流の研修会も実施します。

・高年齢者支援系

（7月）新任職員研修（フレッシュマンフォローアップ研修）

利用者にとって望ましい介護とは何か、現場から説き起こす介護の実務と理論を学びます

（10～12月）初任者研修

新制度移行に伴い、高年齢者支援系職員が講師となり、広く地域の介護人材を養成します。

（12～2月）施設間交換研修

コア人材育成研修を行います。

（1月）地域包括ケアに関する講演会（参加者150名予定）

地域に向けた社会資源の提供として、高齢者の介護実践を学んでもらう。

（3月）新任職員フォローアップ研修

半年間の振り返りを行い今後の目標を定めます。

・障害者支援系

（6月、9月、11月）新人研修 基本的な接遇マナー

基本的な接遇マナーを学び、ビジネスマナー、コミュニケーション技法を習得します。

（7月）新任職員研修

グループに施設を見学して各施設の事業を理解し、

法人組織の一員としての自覚を養います。

(10月)リーダー研修：主任及び副主任対象

主任及び副主任の役割やマネジメントスキルを学び、次世代の管理者候補の育成につなげます。

(2月)全体職員研修

専門知識の向上(虐待防止)と支援の向上を図ります。

(通年)施設間人事交流研修

他施設また他法人での研修を通じて、職員の資質向上と人材育成を図ります。

・保育支援系

(4月)リスクマネジメント

保育園での危機管理について学びます。

(7月)保護者との信頼関係を築くための職員実践研修

「親心を育む」をテーマにお話しを伺い、「1日保育士体験」等の意義や方法を学びます。

(5月、1月)中堅職員研修

次期幹部候補へ繋げられるよう中間層の資質向上と育成の充実を図ります。

・児童・女性支援系

(5、7、11月)発達障害研修(1回目)

発達障害の基礎理解とコミュニケーションの取り方等を学びます。

(6月)接遇(ハラスメントを含む)研修

職場における基本姿勢や心構え、ハラスメントへの対応方法を事例に即して学びます。

(9月)メンタルヘルス研修

具体的事例に即して、メンタルヘルスへの対応方法を学びます。

(2月)ハラスメント研修

ハラスメントへの対応が必要となっている事例に即して職員がどのように対応していくべきなのかを学びます。

(10月~2月)グループ内施設交流研修(3日間)

グループ外施設交流研修(3日間)

他業種、他施設での研修を通して三業種の理解を深めるとともに、職員の視野を広げ資質向上を図ります。

理事会及び評議員会

定款の定めに従い、下記の理事会、評議員会を開催します。

1 理 事 会

平成 25 年 5 月 29 日開催	主要議案	前年度事業報告・決算承認、 監事監査報告
平成 25 年 10 月 23 日開催	主要議案	補正予算
平成 26 年 2 月 19 日開催	主要議案	施設長等人事、最終補正予算
平成 26 年 3 月 26 日開催	主要議案	次年度事業計画・当初予算承認
臨 時 開 催	主要議案	規程改正及び事業運営の必要 に応じて開催

2 評 議 員 会

平成 25 年 5 月 29 日開催	主要議案	前年度事業報告・決算承認、 監事監査報告
平成 25 年 10 月 23 日開催	主要議案	補正予算
平成 26 年 2 月 19 日開催	主要議案	最終補正予算
平成 26 年 3 月 26 日開催	主要議案	次年度事業計画・当初予算承認
臨 時 開 催	主要議案	事業運営の必要に応じて開催

3 理事・監事・評議員

理 事 長	牧野 洋一			
常務理事	菅原 眞廣			
理 事	多久島耕治	橋本 泰子	原山 陽一	森谷 順蔵
	品川 卓正	殿塚 典彦	神田 祐一	
監 事	鈴木 道生	五十嵐力平		
評 議 員	坂井 利夫	古屋 正義	小山 寿	小林 順吾
	本山美八郎	田中 幸子	川向 良和	飯山 幸雄
	比留間由真	堀 茂	岡橋 生幸	戸塚 洋子
	田中紀久子	六本木 尚	石川 宜子	水谷 貞子
	林 美枝	牧野 洋一	菅原 眞廣	

施設長会及び各種委員会

本法人組織規定に基づき、施設長会および下記の委員会を設け、それぞれの運営要綱の定めにより、理事長の諮問に答え、あるいは理事長へ意見具申することにより、法人事業の適正運営に資するものとします。

1 施設長会

法人事業全般にわたる事項について、情報交換し、意見を述べ事業の実現に向けた協力並びに活動を行い、法人事業推進の中核的役割を果たします。

2 総合企画委員会

法人の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について調査、審議し、理事長に意見具申します。

3 人事委員会

施設幹部職員の任用・降格、職員の表彰・懲戒、採用、人材育成等人事に関する必要事項について審議します。

4 規程整備委員会

法人の組織・人事・給与及びその他諸制度に関する規程について、検討し整備を行います。

5 研修委員会

施設長、幹部候補職員、中堅職員、事務職員、新任職員等本法人職員の研修に関し、企画・実施に当たります。

6 広報委員会

「同援だより」の発行、法人ホームページの更新等本法人の広報活動に関し、その企画・実施に当たります。

7 人事考課評価委員会

職員人事考課規程に基づき、人事考課に疑義があると判断された場合において、評価が公正かつ的確に行われているかの審査を行います。

8 情報システム委員会

情報システムの適切な運用に関する推進を行います。

9 その他

上記の他、必要に応じ委員会等を設け、本法人事業の適正運営に資します。

事務局主要業務

理事長、常務理事を補佐し、法人に関わる各種業務の円滑な執行を図ります。

1 組織（平成 25 年 4 月 1 日現在）

理事長—常務理事	企画部	事業計画、予算および決算、財務管理、資金造成、病院を担当
	総務部	諸規程、文書、組織、広報、理事会および評議員会、職員の人事、給与、研修、福利厚生等、事務局を担当
	施設部	施設の事業運営、連絡調整、内部検査、施設整備を担当

2 内部検査

施設・事業所の運営について、経理規程の定めるところを中心とした事業全般にわたる内部検査を行います。

